

からみて、育種的な検討とともに、施業のやり方、すなわち保残木作業や、母樹法、帯状皆伐法や群状皆伐法などについて検討してよい樹種であろう。

〔文 献〕 ・ CHAPLIN, G.E. (1993) Silvicultural Manual for the Solomon Islands, Solomon Islands Forest Record No. 6, ODA Forestry Series No. 1 : 79~93.
・ Forestry Division, Ministry of Natural Resources, Honiara (1979) Solomon Island Timbers, Timber Booklet No. 1, Major Species. pp. 13~18. ・ MARTEN, K.D. (1980) Silvics of Species (1), *Campnosperma brevipediolata*. Research Report S/2/80. 11 pp.
・ 加藤亮助・脇孝介 (1997) 熱帯造林木利用技術開発調査施業技術部会調査—ソロモン諸島一, 熱帯造林木利用技術開発調査事業 (平成 8 年度調査事業報告書), 国際緑化推進センター, pp. 183~226. ・ 南方造林協会 (1985) ソロモン諸島における森林の更新に関する調査報告書. 南方造林, No. 33 : 31~71.

図書紹介

◎**テイゴの生産と利用：現場マニュアル** (POWELL, M.H. & WESTLEY, S.B., ed. *Erythrina* Production and Use : A Field Manual. Nitrogen Fixing Tree Association, 1993, 55 pp., 価格 会員 US\$ 5 ; 非会員 US\$ 7)

かつては、林業技術者はテイゴ類を無視していたが、今日その多目的な用途が認められるようになった。社会林業やアグロフォレストリーの新しい分野は保守的な林業技術者の、木材を中心とした見方を完全に変えてしまった。沖縄県で広く植えられているのは南アジア原産の *Erythrina indica* とされているが、マメ科マメ亜科に含められるこの属の樹木としては、アジア・オセアニアに 12 種、アフリカに 31 種、新熱帯に 70 種があるとされている。9 章からなる本書の構成を見ると、1. 植物学と生態 (分類, 分布, 環境条件, 一般名), 2. 更新 (タネからの増殖, 無性繁殖), 3. 1 年生作物との混作 (アリークローピング, 生立木による支えなど), 4. 多年生作物の被陰と支え, 5. 生け垣, 6. 飼料の生産と利用, 7. その他の用途 (薬用, 木材, 手工芸品, 食用, 造園用, 繊維, 染料, 防風林), 8. 病虫害, 9. 種子の採取・貯蔵・遺伝的改良となっている。また、この後に付けられている資料も便利である。それらを見ると、A (5 亜属, 26 節, 108 種の一覧表), B (国または地域別にみた分布), C (7 種の特性表), D (亜属, 節ごとの種数と地域別分布), E (種子と根粒菌接種材料の入手先), F (著者一覧表), G (文献) である。なお、本書を出版してまもなく本協会はウィンロックに吸収されたので、現在では後者で入手することができる。宛先は次のとおりである。Winrock International, FACT Net, 38 Winrock Drive, Morrilton, AR 72110-9370, USA ; E-mail : forestry@mssmail.winrock.org ; www.winrock.org/forestry/factnet.htm (浅川澄彦)